

令和7年度学校だより

こ 湖 なん 南

第10号

令和7年12月24日

氷見市立湖南小学校

TEL 91-1226 FAX 91-5959

Eメール konan-es@tym.ed.jp



冬休みを楽しく過ごすには・・・

自分で決めて ・ 顔の見えるコミュニケーション

今日で、2学期は終わります。今学期も、子供たちが元気に学校生活を送ることができたことを本当に嬉しく思い、保護者の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

さて、終業式には、子供たちに冬休みを楽しく過ごすための2つの挑戦について話しました。

一つ目は、「自分で決めて実行しよう」ということです。

自由な時間がたっぷりある冬休み。ご家庭では、新しい年を迎えるための準備に忙しいことでしょう。子供たちも、一つ上の学年に進級する(6年生は中学校に進学する)ための準備をしなければなりません。家族から、「部屋を片付けなさい」「勉強しなさい」と言われて、「今やろうと思っていたのに、そんなことを言われるとやる気がなくなった」などと思う人はいないでしょうか。私も経験がありますが、人から「やりなさい」と言われたことは、なんとなくやる気にならないものです。

では、どうしたらよいでしょう。それは、「自分で決める」ことです。自分で決めるためには、自分で、今、何をすればよいのか、何をすべきなのかを判断することが必要です。そして、自分で決めたことには、自分で責任をもつのです。「自己決定、自己責任」ということです。だれの心にもある、「なまけ心」や「わがままな心」に負けず、今の自分をより成長させるために、自分で決めて実行してほしいと思います。

二つ目は、「顔の見えるコミュニケーションを心がけよう」ということです。

家に帰って、ネットやゲームに夢中になっている人はいませんか。

コミュニケーションとは、本来、相手と直接顔を合わせて会話をし、表情や仕草、声の調子からお互いの気持ちを示し合うものです。人と面と向かい合って自分の思いや考えを伝える、相手の思いや考えを知る力は、これから社会の中で成長していく子供たちにとって、とても大切なものです。

家族と過ごすことの多い冬休みには、ぜひ「顔の見えるコミュニケーション」を心がけてほしいと思います。家族の一員として、自分にできることを進んで取り組んでください。そして、してもらったことには、「ありがとう」と、家族に伝えることが多くなれば、心も温かく、楽しい冬休みを過ごすことができると思います。



令和7年、今年もありがとうございました。
皆様、よいお年をお迎えください。

【6年生が製作した門松】